



# 万燈通信

太田市立休泊中学校

学校通信 第11号

令和7年1月31日

『あいさつ、清掃、ボランティア』を進んで行う休泊中生徒

## 目標をもち、進路の実現を ～家庭とともに～

2025年が始まり約1ヶ月が経過しました。生徒たちは次のステージも意識しながら、様々なことに対して意欲的に取り組んでいる姿が見られています。

また、3年生は、1月5日より私立高校の入学試験が始まり、2月20・21日には公立高校の学力検査を控えています。3年生の教室は、元気な生徒たちの声が響いている中でも、以前より緊張感が漂ってきています。そのような中、生徒たちは家族や友達、休泊中の職員など周りの人たちからの支えにより、希望の進路を実現しようと頑張っています。

また、プレッシャーの中で力強く前に進むために大切なことは目的意識です。「みんなが高校へ行くから自分も高校へ行く」ではなく、「高校に入って〇〇を頑張りたい」「高校を卒業して、さらに〇〇をしたい」「将来〇〇になって〇〇をしたい」。そういった強い目的意識が強い生徒ほど、困難に対して粘り強く取り組むことができます。

高校に入ることはゴールではありません。高校入学のその先には、大学や専門学校等への進学や就職などがあります。特に今の中学生たちが大人になる頃には、70歳を超えるまで「働く」ことが普通になっていく可能性があるとも言われおり、50年間近く働きながら人生を歩んでいくこととなります。「働くことを通して、どのように豊かな人生を歩んでいくか」ということは、中学生にとって大きなテーマの一つです。

本校でも、例えば3学期に入り1年生の総合的な学習の時間では「身近な職業調べ」、2年生では「興味のある高校調べ」を行っています。また、総合的な学習の時間だけではなく、学級活動や道徳などの中で、自分のよさを見つけたり、自分と社会との関わりについて考えたりといった、様々な形でキャリア教育も行っています。さらに、資源回収などのボランティア活動を通して、地域や社会の一員としての自覚を高めさせていくことで、生徒が目標をもって進路の実現について考えを深めることができるよう教育活動を行っております。



ご家庭におかれましても、お子さんのよさや特性などを認め、励ましていくとともに、将来の夢や希望を話し合う機会を積極的にもっていただけるようお願いいたします。

ちなみに、群馬県の公立高校では出願時に生徒がインタビューシートを書きます。今年度のインタビューシートは以下のような内容でした。

- 1 学校・学科等を志望する理由
- 2 これまでの3年間を振り返って、頑張ったことや成長したと思うこと
- 3 各高校ごとに設定した質問

(例)「本校入学後、学業以外で特に力を入れて取り組みたいこと」

「将来、どのように社会と関わり、貢献したいと考えているか」

「高校3年間をどのような目標を持って過ごしたいか」

「どのような将来像を持ち、そのためにどのような高校生活を送っていききたいか」

上記のような内容も話題にしなが、家族で話し合ってみてはいかがでしょうか。

## 交通安全について

1月7日の始業式では、学校長より交通安全について話をしました。新しい一年を迎えるにあたり、まずは命を大切にすること。そしてそのためにも、社会の一員として日頃から交通ルールを守り、交通事故を起こさないよう常に注意を払うよう話をしました。

ブログでも紹介をしましたが、写真は朝の登校の様子です。自転車の生徒は、左側通行で一列になり登校することができます。このような自転車の乗り方が、常にできるようにしてほしいと思います。



一方、8時30分ギリギリに登校してくる生徒は、自転車のスピードが他の生徒よりも出ている傾向があります。寒い日が続いていますが、5分前には教室に入れるように余裕をもって登校してほしいと思います。

## 災害時の対応について

1月21日に『震度5以上の地震が発生した際の学校の対応について』という通知を配布しました。学校の対応は通知の通りですが、今回、職員の中で改めて話題になった点が、大きな地震等によりメールでの連絡ができない場合、どのように対応をするのかということです。

基本的なスタンスは、安全が確認できるまでは待機するということになります。メール等の連絡手段が使えない場合は、安全が確認できない状況であると言えます。したがって、このような場合には、原則として学校にいる時は保護者が迎えに来るまで待機、登校前であれば家庭で待機ということになります。

ちなみに、先日放映されていた阪神・淡路大震災に関するテレビ番組の中で、「朝、どうしてよいか分からず、とりあえず登校したけれども、学校へ行ったら帰りなさいと言われた」とインタビューの中で答えている方がいました。特に地震については余震が起こる可能性があるため、分からない中での行動は危険です。

また、地震以外にも大雪や路面の凍結、局所的な集中豪雨、雷などにより登校するのが危険となる場合もあります。登校前に危険と感ずることがあったら、学校から連絡がなくてもまずは身の安全を確保し、自宅に待機をさせるようお願いいたします。

## 体調を崩しやすい季節となりました

インフルエンザ等の感染症が流行する季節となりました。休泊中でも、発熱や咳等の風邪症状がみられる生徒が少しずつ増えてきています。

健康な生活を送るためにも、日頃から風邪の予防とともに、免疫力を高める生活も意識してほしいと思います。ちなみに免疫力を高めるためには、バランスのよい食事や適度な運動、十分な睡眠など、生活習慣を整えることが大切です。

また学校では、インフルエンザなどの感染症に広がりが見られる場合は、学校医と相談しながら急遽早帰りや学級閉鎖等の対応をとる場合もあります。特に感染拡大の速度が速いと判断した場合は、登校直後に早帰りの措置をとる場合もあります。（その場合、もちろん学校から各家庭にメール連絡をします。）特に急な早帰りとなった場合の対応方法についても、あらかじめ家庭でも確認をしておいていただければ幸いです。